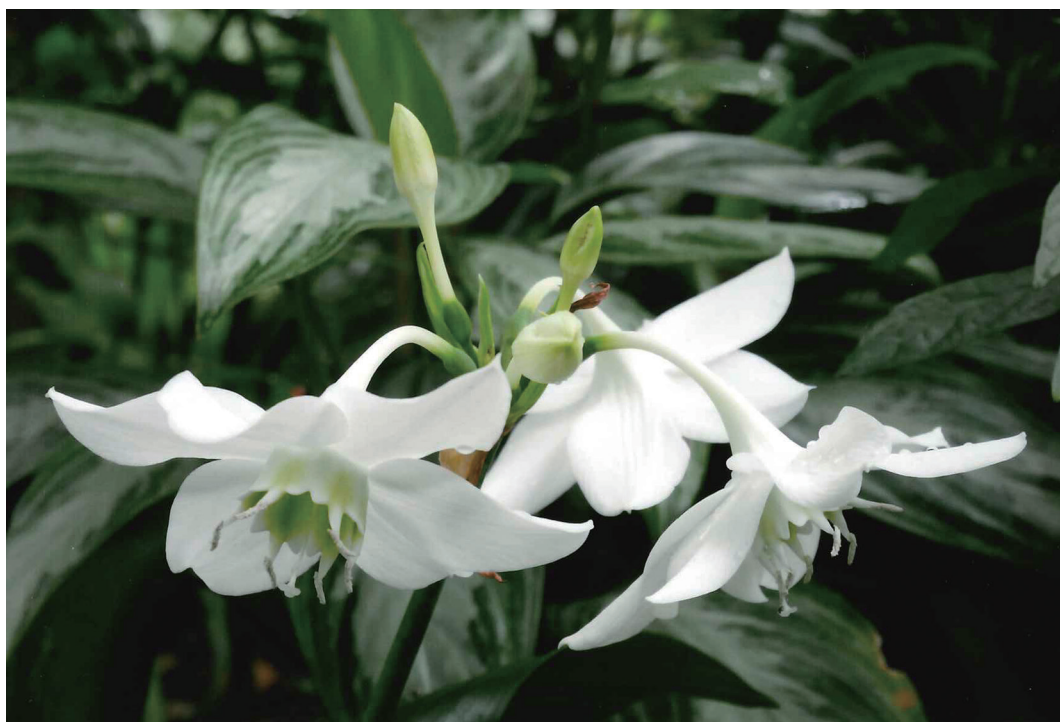


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第528号 令和2年7月・8月



『アマゾンユリ』 真鍋 勉

目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 令和2年度西多摩医師会定時社員総会	
2) 専門医に学ぶ	高田眞一・梶田賢司 … 7	会長挨拶	玉木一弘 … 16
3) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	野本正嗣 … 11	8) 連載企画	奥村 充 … 18
4) 令和2年度西多摩医師会定時社員総会報告		9) 理事会報告	広報部 … 20
	総務部 … 14	10) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 25
5) ゴルフ部お知らせ	ゴルフ部 … 14	11) 表紙のことば	真鍋 勉 … 30
6) 広報だより	松本 学 … 15	12) あとがき	進藤幸雄 … 30
		13) お知らせ	事務局 … 31

保健所だより

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2020年第14週～2020年第22週(3/30-5/31)の間に届出された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- **結核 9件** 肺結核 4件、肺結核・粟粒結核 1件、粟粒結核 1件、結核性胸膜炎 2件、無症状病原体保有者 1件。
年齢は 40代 1件、50代 2件、60代 1件、70代 3件、80代 1件、90代 1件。

〈四類感染症〉

- **E型肝炎 2件** 年齢は 40代 1件、60代 1件。

〈五類感染症〉

- **百日咳 2件** 年齢は 50代 1件、60代 1件 百日咳含有ワクチン接種：不明 2件

〈指定感染症〉

- **新型コロナウイルス感染症 17件**

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週
		3/30～	4/6～	4/13～	4/20～	4/27～	5/4～	5/11～	5/18～	5/25～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)	3								
小児科	RSウイルス感染症									
	咽頭結膜熱				1	1				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	14	6	3	4	3	2	1	2
	感染性胃腸炎	9	6	7	3	4	2	6	9	8
	水痘	1	1	2			1			
	手足口病						1			
	伝染性紅斑									
	突発性発しん	2	2	1	2	1	3			
	ヘルパンギーナ		1		1	1				
	流行性耳下腺炎			1	2					
不明発疹症										
川崎病									1	
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
基幹病院	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎									
	クラミジア肺炎									
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									
	インフルエンザ入院									
	合計	20	24	17	12	11	10	8	10	11

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 第22週(5/25-5/31)時点

- 対象疾患全般で定点当たり報告数が例年並み以下になっています。

3. 注意すべき感染症

【新型コロナウイルス感染症】

- 東京都緊急事態措置は5月25日をもって終了となりましたが、その後も新規患者が出現しています。
- また、新型コロナウイルス感染症疑いで検査された方が、実際には結核であった事例も相次いでおりますので、日常診療におかれましては、ご留意いただけますと幸いです。
- 新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報は以下のホームページをご覧ください。

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

毒きのこによる食中毒について

食中毒には季節性があり、冬にはノロウイルス等のウイルスによる食中毒が多く発生し、山菜狩りが行われる春には有毒植物による食中毒が、気温が高くなる夏には細菌性食中毒が多くなり、そして秋には毒きのこによる食中毒が発生しています。秋にはきのこの発生する量も多くなり、きのこ狩りをする人も増えるためきのこによる食中毒も多くなります。毒きのこによる食中毒は、毎年繰り返し発生しており、ほぼ9割が秋（9月から11月）に集中して起きています。（図1）きのこによる食中毒は、野生の毒きのこを食べられるきのこと思いきって食べてしまっただけで発生するものがほとんどで、多くが家庭で発生しています。厚生労働省ではきのこによる食中毒予防法として、食用と確実に判断できないきのこは、絶対に「採らない！」「食べない！」「売らない！」「人にあげない！」と呼びかけています。

山でおいしいきのこを見つけると大変うれしく、おいしい味を覚えるとその魅力にはまってしまう。しかし、野生きのこを採取し食べる場合、毒きのこによる危険性がつきまとうことになります。地味な色で食用きのこに似ているから食べられそうだと思って手を出すのは最も危険です。食用きのこに類似している毒きのこや、名前のついていない未知のきのこもたくさんあるので、食用きのこに確実に判断するのは簡単ではありません。確実に判断するためには、実物のきのこを良く観察し1種ずつ確実に見分ける能力を向上させるなどの努力が必要です。少しでもおかしいと思うきのこには手を出さず、「似ている」は「違う」と思って、食べないことが大切です。

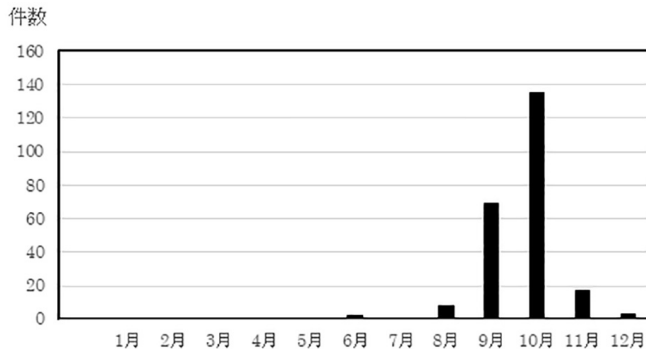


図1 平成24年から平成30年の月別毒きのこによる食中毒発生件数（全国）

○きのこについて

きのこは何か。きのこは植物ではなく、動物でもなく、菌類に属する生物でカビと同じ仲間です。そのうち胞子をつける子実体が肉眼で見える大きさのものを「きのこ」と呼んでいます。日本に発生するきのこは1万種程度あると言われ、その中で名前がついているものが2000種から3000種あると言われており、名前がついていないきのこも多く存在しています。きのこは植物でいうと花にあたる生殖器官で、本体の菌糸は土や木材の中にあるため、きのこはある日突然発生しすぐに消えてしまうように見えます。このように出現する期間が短いこと、研究者も少なく栽培できないものが多いことなどから、研究が難しく未知のきのこが多く存在することになるのです。

○毒きのこによる食中毒

表1のとおり、平成20年から平成30年の全国のきのこによる食中毒件数は468件で、1329名の患者が発生し2名の方がお亡くなりになっています。食中毒となった毒きのこの第1位はツキヨタケで198件、667名の患者を出しています。第2位はクサウラベニタケ及びイッポンシメジで94件、290人、第3位はテングタケ及びイボテングタケの35件、59名の患者を出しています。これらのきのこは地味な色をしており食用のきのここと誤認しやすく、一度に採れる量も比較的多いため食中毒が多いのだと思われます。これら第1位から第3位のきのこで、発生件数の約70%、患者数の約76%を占めています。従っ

て、これらのきのこによる食中毒が防げればきのこによる食中毒事件の約7割を減らすことができることとなります。

発生件数第1位のツキヨタケは秋にブナなどの枯れ木から多数発生し、柄の付け根部分に黒いシミがあるのが特徴で、暗闇で青白く発光する性質があります。誤って食べると30分から1時間でおう吐、腹痛、下痢などを起こします。

発生件数第2位のクサウラベニタケは、地味な茶色味がかかった灰色をしたきのこで、ヒダは初め白色ですが、胞子が成熟することによって赤味を帯びる特徴があります。イッポンシメジはクサウラベニタケと同じイッポンシメジ属のきのこで両者はよく似ています。クサウラベニタケやイッポンシメジとされるきのこの中には、未分類の複数の種類のきのこが含まれているとの指摘があり、食用きのこの区別をさらに難しくする要因となっています。食中毒予防の観点からはこれらを厳密に区別する必要はなく、クサウラベニタケやイッポンシメジ及びそれらに類似するきのこは食べないようにする必要があります。

発生件数第3位のテングタケの仲間のイボテングタケは平成20年に初めて食中毒の原因食品として記録されています。イボテングタケは針葉樹林に多く、テングタケより大型のきのこです。平成14年に新規記載されるまではテングタケと同一種として扱われていたため、イボテングタケという記録はないわけです。



ツキヨタケ



クサウラベニタケ



テングタケ

表1 毒きのこによる食中毒発生状況（種類別発生状況）

きのこの種類	間違えやすい食用きのこ	平成20～30年		
		事件数	患者数	死者数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	198	667	0
クサウラベニタケ及びイッポンシメジ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	94	290	0
テングタケ及びイボテングタケ		35	59	0
ドクササコ	チチタケ、カヤタケ	15	25	0
オオシロカラカサタケ		13	25	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ	10	22	0
オオワライタケ		4	7	0
ニセショウロ		4	7	0
ニガクリタケ	クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	3	3	0
タマゴタケモドキ	キタマゴタケ	3	3	0
ハイロシメジ		2	4	0
ヒカゲシビレタケ	ナラタケ、ナラタケモドキ	2	3	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、シロオオハラタケ	2	2	0
オオシビレタケ		1	3	0
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	1	1	1
カブラアセタケ		1	1	0
その他		28	62	0
不明		52	145	1
合計		468	1329	2

(厚生労働省統計資料参照)

注) クサウラベニタケ及びイッポンシメジ、テングタケ及びイボテングタケはよく似ており、食中毒予防の観点からあわせて集計しました。

○毒きのこによる潜伏時間と症状など

きのこによる食中毒はその作用別に消化器障害型、神経障害型、原形質毒性型の3つに分類されます。

消化器障害型は、消化器系に作用し、吐き気、おう吐、下痢などの症状を起こします。ツキヨタケ、クサウラベニタケ等で起こります。

神経障害型は、神経系に作用し、幻視、幻聴、知覚麻痺、激しい頭痛、めまいなどを起こすものです。テングタケ、シビレタケ等で起こります。

原形質毒性型は、様々な臓器や細胞に作用し、腹痛、おう吐、下痢から始まり、肝不全、腎不全、循環器不全の併発といった全身症状を呈して、死に至る場合もある、致死率が高いものです。カエントケ、ニセクロハツ等で起こります。

また、有害成分によっておこる健康障害として、スギヒラタケの急性脳症が知られています。かつて食用きのこと考えられていたスギヒラタケは、腎機能障害を持つ人が食べると急性脳症を起こし、死に至ることがあることが平成16年に分かりました。その後、腎機能に異常のない人でも発症が確認されています。きのこ毒の主な作用やきのこの種類との関係は下表のとおりです。

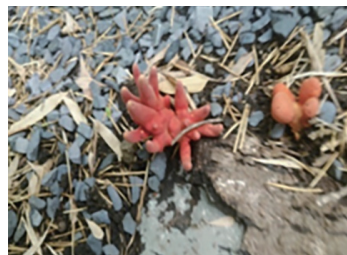
表2 きのこ毒の主な作用と症状

作用など		潜伏期間	主な症状	主な毒きのこ
消化器障害型		20分～ 2時間	吐き気、おう吐、下痢、全身の倦怠感	ツキヨタケ、クサウラベニタケ、カキシメジ、オオシロカラカサタケ、ニガクリタケ
神経障害型 (知覚及び神経系症状)	副交感神経刺激型(ムスカリン様)	10～30分	激しい発汗、腺分泌の亢進、瞳孔縮小、除脈から血圧低下、重症では精神錯乱など発現し、呼吸困難を起こして意識喪失	オオキヌハダトマヤタケ、アセタケ、クサウラベニタケ
	副交感神経麻痺型(アトロピン様)	30分～ 1時間	異常な興奮、流涎、散瞳、うわ言、錯乱状態、症状が進むと痙攣、筋硬直、意識不明	イボテングタケ、テングタケ、ハエトリシメジ
	中枢神経麻痺型(幻覚剤様)	30分～ 1時間	幻視、幻聴、知覚麻痺、めまい、言語障害、酩酊状態、重症では精神錯乱、筋弛緩が起こり意識不明	シビレタケ、ヒカゲシビレタケ、オオワライタケ
	末梢血管運動神経刺激型(肢端紅痛症)	数時間以上	不快感、吐き気、しびれ感、全身倦怠感、数日後に手足末端が赤く腫れ、浮腫を起こし激痛	ドクササコ
	ジスルフィラム型(アンタビユース様)(きのこを食べる前後にアルコールを摂取した場合のみ発症)	20分～ 2時間	顔、首、胸が紅潮、激しい頭痛、めまい、おう吐、呼吸困難、不快感	ホテイシメジ、ヒトヨタケ、スギタケ
原形質毒性型 (致死率が高い)	コレラ様症状、肝臓、腎臓障害型	6～10時間以上	突然の腹痛、激しいおう吐、下痢(コレラ様の水溶性下痢が反復継続)、脱水症状、糖代謝異常または肝細胞の壊死、中毒末期には黄疸、中毒性腎炎から肝不全、腎不全、肝性脳症を併発して死に至る	ドクツルタケ、シロタマゴテングタケ、タマシロオニタケ、テングタケモドキ
	溶血障害、心機能不全型	10～30分	おう吐、下痢、瞳孔縮小、背筋硬直、言語障害、血尿から心機能障害、意識不明	ニセクロハツ
	毛細血管など循環器障害型	30分～ 2時間	悪寒、腹痛、頭痛、激しいおう吐、下痢、喉の渇き、顔などの粘膜性びらん、脱毛、重症では腎不全、循環器不全、脳障害などの全身症状が現れ死に至る	カエントケ

(内閣府食品安全委員会ホームページより引用)

○当所管内で発生したカエントケ食中毒

平成9年10月5日、当所（当時は秋川保健所）の管内にお住まいの家族2名が採取したきのこをバター炒めにして食べ、1時間から3時間後におう吐、下痢等の症状となりました。残品を鑑定したところカエントケであることが判明しました。当時、症例報告はあったものの、その症例と症状が異なっており、カエントケはまだ毒きのこはわかっておらず、マウスによる毒性試験の結果「24時間観察で異常を認めない」との検査結果もあり、病因物質不明（カエントケ疑い）の食中毒として処理されました。その後平成11年10月にカエントケを食べた5名が30分後から腹痛、下痢、手足のしびれなどの症状を訴え、2日後に1名が循環器不全、腎不全となり死亡する事件が発生しました。この事件があった平成11年からカエントケは猛毒きのここと認知されることになりました。



カエントケ

○最後に

スギヒラタケのように食用にされていたものでも死に至る毒性を持つことが判明したのは平成16年であり、猛毒のカエントケも毒性が認知されたのは平成11年です。未分類のきのこも多くあり、見分けにくいきのこも多くあります。きのこはまだまだ分かっていないことも多いのです。また、きのこに関しては平成23年3月に発生した原子力発電所の事故による放射性物質の関係から出荷制限等がされている地域もあります。野生きのこは安易に食べず、食べる際にはこれらのリスクを十分に理解して、最新情報を把握していく必要があると考えられます。

(参考文献)

- 1) 東京都福祉保健局『東京都の食中毒概要』平成24年 p145-p157
- 2) 公益社団法人日本食品衛生協会『食と健康』平成30年11月号, p56-p78
- 3) 東京都福祉保健局 食品衛生の窓 キノコの話
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/kinoko/index.html>
- 4) 厚生労働省 毒キノコによる食中毒に注意しましょう
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/
- 5) 内閣府食品安全委員会 食中毒予防のポイント 毒キノコによる食中毒にご注意ください
http://www.fsc.go.jp/sonota/kinoko_tyudoku.html

専門医に学ぶ 第143回

急性脳炎をもたらした卵巣奇形腫

公立阿伎留医療センター 産婦人科 高田眞一 梶田賢司

症例 1

19歳女性、派遣社員。

入院の1週間前から職場で異常行動があり、入院前日の入浴後、一過性意識障害と強直性痙攣が出現し、救急外来を受診した。来院時には、意識回復し画像所見で器質的疾患を確認できなかった。「てんかん発作疑い」で入院を勧めるも、患者と両親の希望で帰宅した。同日夜に同様の痙攣が再度出現したが、自然消失した。痙攣後の意識は清明だったが、翌日、N大病院を受診した。脳波検査中に強直間代性の痙攣発作があり、ジアゼパム投与後に神経内科に緊急入院した。

症例 2

19歳女性、大学生。

失恋した当日に、バイト先で喜怒哀楽に異変が生じた。その晩は友人宅で、泣いたり、薄笑いや独語も出現した。翌日も症状不変のため、精神病院を受診した。妄想や幻覚はなく、意思疎通も良好であったため、躁鬱状態と判断され同院に入院し、抗精神病薬を服用するも、徐々に傾眠・無口になった。1週間後、腰椎穿刺で細胞数の上昇を認めたため、脳炎疑いでN大病院に転院した。

症例 3

26歳女性、養護学校教員。

入院10日前に発熱・頭痛が出現した。7日前に「生徒と一緒に歌っても心に響いてこない」、「折り紙ができない」、「自転車に乗るのが怖くなった」、「神の声が聞こえる」、「気持ちが高ぶり、頭の血管が切れそう」など幻聴・妄想が出現した。近医から抗不安薬を処方されるも改善せず、不安、焦燥感は増悪した。「どのくらい父から愛されているか知りたい」、「いつ死んでも怖くない」、「神の祈りは怖くない」など神や死、愛に関する妄想が目立ってきた。痙攣発作のため、精神病院へ入院したが、発熱、痙攣様発作を繰り返し、入院5日目に気管挿管されN大病院に転院した。

症例 4

25歳女性、無職。

短大卒業後、某会社に3ヶ月間勤め退職し、その後いくつか職を変えた。4年前から強迫的洗手が出現し精神病院に通院し、抗精神病薬を処方された。2週間前から不穏状態になり、脱力や興奮して意味不明の言葉を発するようになった。数日間は食事摂取なし。精神病院への入院を本人が拒否するため、内科医院からの紹介でN大病院を受診し、そのまま医療保護入院となった。

4症例とも、若い女性が強い意識障害や痙攣発作、統合失調症様症状を繰り返したのが特徴的である。症例1の臨床経過を述べる。

症例1の経過 (図1)

入院時現症：意識レベルがJCS1-1、バイタルサインは異常なし、SpO₂ 98% (Room air)、脳波検査では、右優位の鋭波複合の散発時に「左を向く」発作あり。鋭波複合の持続で痙攣・意識障害を認めた。頭部のCTとMRIには、占拠性病変や異常信号もなかった。骨盤CTとMRIで左卵巣に33mm大の腫瘤(内部に石灰化と脂肪)を認めた(写真1)。血液・髄液検査にて抗NMDA受容体抗体が陽性と後日判明した。

上記検査結果から、抗NMDA受容体脳炎と診断し、免疫グロブリン大量療法(IVIG)とステロイドパルス療法を行った。合併した卵巣奇形腫に対して産婦人科に手術依頼があり、入院29日目に腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術で、成熟奇形腫(写真2)を確認した。術後は、痙攣発作と異常行動は消失し、緩徐回復期に至った。抗精神病薬のレベチラセタムとプレドニゾロンの内服を継続し、術後3日からリハビリが開始された。ウェクスラー式知能検査(WAIS)-IIIは77から104に回復し、入院55日目(術後26日目)に退院した。

脳の興奮性神経伝達物質であるグルタミン酸の受容体であるNMDA型グルタミン酸受容体(以下、NMDA受容体)に自己抗体が結合して生じる急性の辺縁系脳炎を抗NMDA受容体脳炎と呼ぶ。特に、卵巣奇形腫の神経細胞膜上の抗原が免疫応答を誘導し抗NMDA受容体抗体が産生され、何らかの契機で血液脳関門が破壊され中枢神経への抗体の侵入が生じる。もしくは、髄内での抗体産生が引き起こされ、海馬や前脳の神経細胞膜のNMDA受容体と結合し機能障害(脳炎)が引き起こされると推察されている。

臨床的特徴は、女性発症が81%と圧倒的であり、発症年齢は8~85歳(中央値21歳)で、18歳未満が全体の37%を占めた。全例の70~80%に精神症状、てんかん、不随意運動、中枢性低換気、自律神経症状などがあり、55%で頭部MRIに異常所見があった。完全寛解率は70%、死亡率は4~7%、再発率は20~25%だが、発症24ヶ月後も約20%に高次脳機能障害を認めたとの報告がある。卵巣腫瘍の合併は、女性が46%(13~44歳に好発)あり、その94%は卵巣奇形腫と、女性患者の実に4割に卵巣奇形腫が合併していた。

典型的な臨床経過は、①前駆期(頭痛や発熱、倦怠感など感冒様症状)から始まり、②精神病期(不安・幻覚・興奮・妄想など統合失調症様の精神症状が発現)を経て、③無反応期(外的刺激に対する反応が著明に低下)に至る。この時期は、開眼しても一点を凝視し、自発的な運動もなく、中枢性低換気から人工呼吸器管理になることが多い。次いで、④痙攣・不随意運動期(治療抵抗性の痙攣と全身の多彩な不随意運動を呈し、頻脈/徐脈、血圧変動、唾液分泌亢進などの自律神経症状を認める)を経て、⑤緩徐回復期(意識を含めた諸症状が緩徐に回復する)に至る。

診断は、血清・髄液中の抗NMDA受容体抗体を検出することで確定する。髄液検査では細胞数や蛋白濃度は比較的軽度の上昇にとどまり、脳波異常は89%に検出されるが、てんかん性発作波の検出は30%と少ない。脳MRIでも皮質・皮質下に異常があったのは34%と少なく、さらに慢性期に脳委縮を伴うこともあるが、可逆的である。

治療戦略は、ステロイドパルス療法、免疫グロブリン大量療法や血漿交換療法に加えて、画像診断で卵巣奇形腫を疑う場合には腫瘍摘出が優先される。早期の診断と腫瘍摘出によって症状が劇的に改善した例もある。日本産科婦人科学会の研究では、2007年～2017年の18年間で国内の88施設で180例の卵巣奇形腫の摘出手術が行われたが、奇形腫部分が微小や確認されない例も報告されており、今後の症例の蓄積が待たれるところである。

症例1は、正常大の卵巣に微小な奇形腫成分を画像で疑った。術前診断では左側卵巣の奇形腫であったが、手術時では反対側卵巣にも奇形腫を認めたため、両側の腫瘍摘出を行った。精神病期での早期診断と腫瘍摘出によって、劇的に症状の改善を得た予後良好例であった。

ところで、抗NMDA受容体脳炎は卵巣奇形腫に随伴して発症する傍腫瘍性脳炎として2007年にDalmauらによって提唱された疾患概念である。本邦では、亀井らによって1997年に卵巣奇形腫切除後に神経症状が改善した急性辺縁系脳炎が報告されてから、若年女性に好発する原因不明の急性脳炎と卵巣奇形腫との関連性が注目され、のちに抗NMDA受容体脳炎と呼ばれた。

また、本症は、2009年にスザンナ・キャラハンの自己体験による「脳に棲む魔物」、2017年の邦画「8年越しの花嫁、奇跡の実話」などで知られるようになったが、実は1973年に世界中の話題になった映画「エクソシスト」の原作モデルであるとの指摘もある。

一方、卵巣に腫瘍が発生する頻度は、女性の全生涯で5～7%ある。病理組織学的には、良性から悪性まで多様であり、早期発見に有効な検査法はまだない。卵巣腫瘍の多くは無症状であるため健康診断にて偶然発見されるか、腹部の違和感や痛みを自覚して医療機関を受診するか、急性腹症による搬送で診断される。良性腫瘍の約15～20%は、卵細胞が腫瘍化した胚細胞性腫瘍であり、大多数は成熟奇形腫である。成熟奇形腫の内容物は脂肪、毛髪、歯牙、骨・軟骨部分が特徴的であり、画像診断では比較的正確に良悪性を判定できる。そのため、良性なら腫瘍径が6cm未満では経過観察し、6cm超なら茎捻転を考慮して摘出を推奨すると、産婦人科診療ガイドラインにも記載されているが、産婦人科領域ではまだ認識度が低いのが現状である。

本稿では、筆者らが前任地で経験した症例を提示した。現在われわれの外来では、卵巣奇形腫のサイズが小さくても摘出手術を勧めている(図2)。会員の先生方の診断・診療の一助となれば幸いである。

key word 卵巣奇形腫 抗NMDA受容体脳炎 自己免疫性脳炎 卵巣摘出術

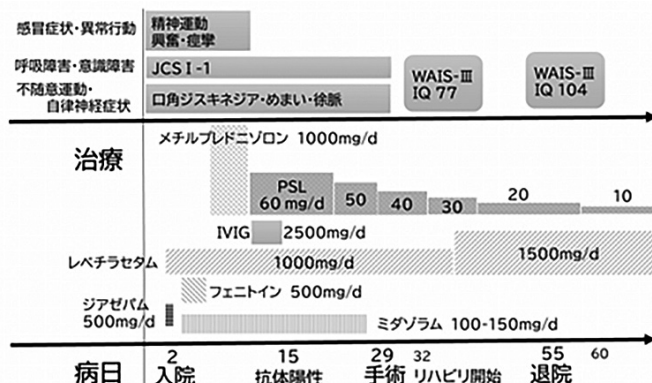


図1 入院・治療経過(症例1)

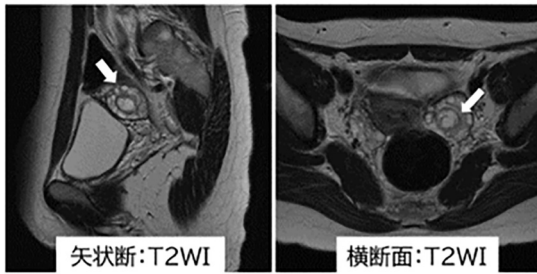


写真1 画像診断(骨盤MRI)

→ 左卵巢奇形腫: 卵巢表層の多数の卵胞が奇形腫成分を取り巻くように位置している



写真2 術中所見(左)、摘出検体(中)、病理標本(右)

→ 骨・軟骨成分

図2 産婦人科外来で配布する資料

卵巢腫瘍(奇形腫)と診断された皆様へ

卵巢腫瘍には多くの種類がありますが、その中で奇形腫は毛髪や骨・歯などが腫瘍の中に含まれる卵巢腫瘍です。この奇形腫の中に脳内の伝達物質 NMDA が感知する部位(受容体)に対する抗体(抗 NMDA 受容体抗体)が脳内にできてしまい、脳炎が発症することが知られています。

発症すると、初期は発熱・頭痛ですが、進行すると精神障害・幻覚・自殺企図・記憶障害やけいれん発作や呼吸障害があります。

全体的な発症率は不明ですが、若い女性を中心に発症しています。そのうち 80% は卵巢腫瘍摘出などで軽快しますが、15% は後遺症を残し、5% に死亡例も認められます。したがって、発症後に卵巢を摘出しても治癒しない場合もあります。

発症は、20～30 歳代に多いものの、腫瘍の大きさは関連しません。したがって、当科としては、現在症状がなくても積極的な腫瘍摘出をお勧めします。

公立阿伎留医療センター 産婦人科

糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 大坪尚也先生に症例提示をお願いいたしました。今年度も糖尿病専門医による示唆に富む症例を提示していく予定です。(7・8月号、11・12月号、3・4月号)皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【SGLT-2 阻害薬の内服中に発症した2型糖尿病性ケトアシドーシスの1例】

青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 大坪尚也

Take home message SGLT-2 阻害薬は糖尿病性ケトアシドーシスのリスクとなる

〈症例〉73歳、男性 〈主訴〉発熱、倦怠感

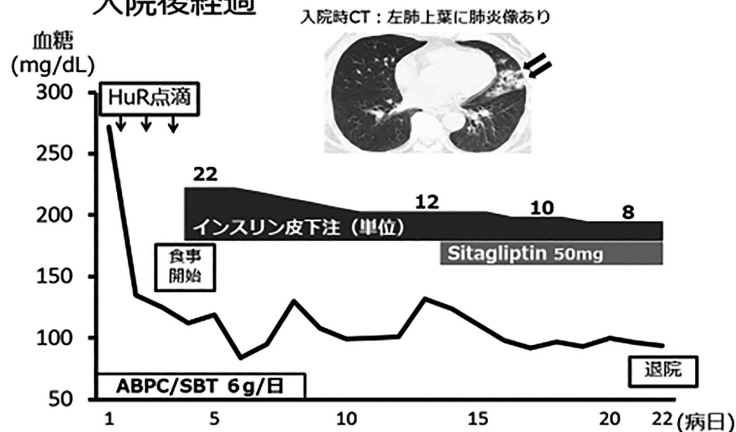
〈使用薬〉カナグリフロジン 100 mg、ピオグリタゾン 15 mg、ボグリボース 0.6 mg、エキセナチド 2 mg/週1回

〈現病歴〉30年来の2型糖尿病で他院に通院中だった。前日から続く発熱、倦怠感で当院を受診したところ、HbA1c 8.9%、随時血糖 378 mg/dL、尿ケトン (3+)、アニオンギャップ開大性の代謝性アシドーシスを認めた。CTで左肺上葉に肺炎像を認め、肺炎を契機とした糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) の診断で当科に緊急入院した。

〈身体所見〉意識レベル JCS 1、体温 37.2°C、心拍数 99 bpm、血圧 155/83 mmHg、SpO2 99% (室内気)、左肺で呼吸音減弱あり

〈検査所見〉尿ケトン (3+)、WBC 11140/uL、Hb 17.5 g/dL、PLT 15.7 万/uL、BUN 66.8 mg/dL、Cr 1.88 mg/dL、Na 130 mEq/L、K 5.3 mEq/L、CRP 18.25 mg/dL、HbA1c 8.9%、血糖 378 mg/dL、血中 C-ペプチド 1.7 ng/mL、抗 GAD 抗体 (-) [静脈血液ガス] pH 7.218、PaCO2 22.9 mmHg、HCO₃⁻ 9.0 mmol/L、アニオンギャップ 29.0 mmol/L

入院後経過



ヒューマリン R の点滴治療を開始し、食事を開始後はインスリンの皮下注射に切り替えた。腎機能が改善後にシタグリプチンの内服を開始した。最終的にインスリン グラルギン 8 単位、シタグリプチン 50 mg の薬物療法で血糖 100 mg/dL 台で安定し、第 22 病日に退院した。

〈症例のまとめ〉2型糖尿病かつ著明な高血糖でもないがDKAを発症した1例である。カナグリフロジンをはじめとしたSGLT-2阻害薬は尿中の糖排泄を促進し、血糖値を下げる効果を持つ。感染症などのストレス下（いわゆる sick day）に置かれると、強制的に排泄されるため糖をエネルギーとして利用できず、脂質の分解が促進しケトアシドーシスを発症することが知られている。異常な高血糖とならず「正常血糖ケトアシドーシス（euglycemic DKA）」と言われることもある。

SGLT-2阻害薬を処方する際にはDKAのリスクを念頭に置き、sick dayの対応はあらかじめ患者さんとよく決めておく必要がある。

～2020年度「西多摩地域糖尿病医療連携検討会」の取り組み～

西多摩地域糖尿病医療連携検討会 座長 野本正嗣

会員の先生方には平素より当検討会の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。2020年度の取り組みが、ほぼ決定致しましたのでご案内させていただきます。

以下の取り組みのうち（12）糖尿病医療連携の為のアンケートを9月頃に実施予定しておりますので、その際は是非ご協力を頂ければと思います。

本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(1) 検討会開催日：第2回9月10日（木）第3回12月10日（木）第4回3月11日（木）
午後1時30分～3時 於：西多摩医師会館

(2) 西多摩医師会館における「糖尿病教室」、「個別栄養指導」の実施

- ・令和2年7月～令和3年3月までの9回実施
- ・第4木曜日の午後1時30分～3時（7月と12月は第3木曜日）
- ・受講者は入口で体温測定を行い、手指の消毒をしマスク着用にて入場（マスクをしていない人にはマスクを配布する）
- ・講師、管理栄養士はマスク、フェイスシールドを着用
- ・座席の間隔をあけて着席（募集人員の定員を30名とし、予約制とする）

日程

- 7月16日「糖尿病とは」（高村先生）
- 8月27日「糖尿病の薬について」（大戸先生）
- 9月24日「糖尿病の運動療法について」（小池先生）
- 10月22日「糖尿病と腎臓の関係について」（木本先生）
- 11月26日「糖尿病と歯・歯周病の関係について」（吉成先生）
- 12月17日「糖尿病と足ケア（神経障害）について」（杉田先生）

2021年1月28日「糖尿病と眼の関係について」（鹿児島先生）

2月25日「糖尿病と心臓の関係について」（栗原先生）

3月25日「まとめ」（柳田先生）

- ・食事療法について（9回）土屋先生

内容の一部変更、また1回実施出来ない分（通常10回）をどの講義で調整するか等は野本と土屋委員との話し合いに一任する

※（3）から（9）までと（11）の実施についても感染予防対策を十分行った上で開催する

(3) 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

2020年9月5日(土)午後2時～4時 於:西多摩医師会館
医師:柳田先生、管理栄養士:中先生、トレーナー:小池先生

(4) 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

2020年10月10日(土)午後2時～4時 於:公立阿伎留医療センター
医師:高村先生、管理栄養士:鈴木先生、トレーナー:小池先生

(5) 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための“糖尿病1日教室”

2020年10月17日(土)午後2時～4時 於:公立福生病院
医師:大堀先生、管理栄養士:内田先生、トレーナー:小池先生

※ (3) (4) (5) の内容は

①糖尿病について(医師40分)②食事療法(管理栄養士40分)③運動療法(トレーナー30分)

(6) 市民公開講座「糖尿病のことを知ろう～患者さんと糖尿病専門医からのメッセージ～」

2020年11月14日(土)午後2時～4時 於:西多摩医師会館

- ・患者さんの体験談 未定 西多摩医師会館糖尿病教室受講者と土屋管理栄養士による対談
- ・講演 & 質問コーナー 医師:足立先生

(7) 症例検討会

【2020年未定】 午後7時45分～9時15分 於:公立福生病院
症例提示:大堀先生、青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科の先生

(8) 糖尿病セミナー

【2020年未定】 午後7時30分～9時30分 於:西多摩医師会館
・講演 医師:片山先生(50分)、佐藤訪問看護師(30分)

(9) 生活習慣病栄養指導外来の症例検討会・情報交換会

【2020年8月未定】 午後7時30分～9時30分 於:西多摩医師会館
・症例発表:青梅市立総合病院、高木病院

(10) 西多摩医師会報での症例提示

7・8月号、11・12月号、3・4月号に掲載
担当:青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科の先生

(11) 糖尿病性腎症重症化予防のための市民向け講演会

2020年10月31日(土) 午後1時30分～3時 於:公立福生病院
・高村内科クリニック 高村先生 公立福生病院 中林先生の講演

(12) 糖尿病医療連携のためのアンケート実施

- ・病院用、一般診療所用、眼科診療所用、歯科用、薬局用をそれぞれ作成
- ・アンケート内容は2015年10月に行なったものをベースに改編し作成

2020 年度 西多摩医師会定時社員総会報告

総務部

令和2年6月16日(火)午後7時30分より西多摩医師会館で2020年度定時社員総会が開催されました。玉木一弘会長による開会挨拶の後、仮議長に下村智先生が指名され、下村仮議長により議長・副議長・議事録署名人の選任が行われました。議長には野本正嗣先生、副議長には井上大輔先生、議事録署名人には吉田英彰先生、鈴木寿和先生が選任され、野本議長の総会開会宣言により議事に入りました。

(資格審査:議場出席者28名、委任状提出者110名、合計138名であり、会員総数209名の過半数105名以上のため総会は成立)

報告事項

2019年度事業報告、2020年度事業計画 土田総務部長より説明

2020年度収支予算 佐藤経理部長より説明

審議事項

第1号議案:2019年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録につき承認を求める件
承認

第2号議案:理事候補者を選任する件 承認

第3号議案:監事候補者を選任する件 承認

第4号議案:医道審議会委員候補者を選任する件 承認

野本議長の閉会宣言により定時社員総会は滞りなく終了し、引き続き2020年度西多摩医師会互助会総会、2020年西多摩医師政治連盟・東京都医師政治連盟西多摩支部総会が玉木一弘会長を議長として行われ、案件は全て承認されました。江本副会長による閉会挨拶で総会は無事終了いたしました。

総会終了後に新役員による臨時理事会が行われ、会長には玉木一弘先生、副会長には江本浩先生、進藤幸雄先生が選定されました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催されている懇親会は行われませんでした。

(文責:土田大介)

春季の医師会ゴルフコンペ中止のお知らせ

春季に予定していた恒例の西多摩医師会ゴルフコンペは、新型コロナウイルスの終息が未だに見られない事を鑑みて中止とさせていただきます。次回は秋に予定していますので、皆様奮ってご参加下さるようお願い申し上げます。

医師会ゴルフ部 渡邊哲哉・三島淳二

広報だより



クジラの耳

あきる野市 まつもと耳鼻咽喉科 松本 学

クリニックの近所にクジラ肉専門の弁当屋さんがあり、時々利用している。元調査捕鯨船の船員だったオーナーが高タンパク低脂肪なクジラ肉のことを知ってもらいたいとオープンしたお店でクジラ肉をから揚げやステーキ、生姜焼きなどに調理してくれる。弁当だけでなく赤身肉やベーコンなどの販売もしている。自分は学校給食でクジラの竜田揚げを食べた世代なのでクジラ肉を食べると懐かしさを覚える。弁当が出来上がるのを待つ間、店に置いてあるクジラに関する資料を見るのも楽しい。そこにあった子供向けの冊子にクジラの耳のことが書いてあった。クジラの耳はどこにあるかご存知だろうか。

大昔クジラの祖先はカバに近い動物で陸上におり、それが約5千万年前に陸から海へと入り、今日に至っている。クジラの耳は目のすぐ後ろにあるのだが、水の抵抗になる耳介はなくなり、水が入らないよう外耳道は閉塞してしまった。見た目はただのくぼみである。閉塞した外耳道の先は再び広がっていて耳垢が堆積している。ヒトと同じくクジラも耳垢がたまるらしく、クジラの年齢は堆積した耳垢で調べるといふ。耳垢量はストレスや海洋汚染とも関連するらしい。その耳垢のさらに奥にグラブ・フィンガーと呼ばれるドーム状の鼓膜がある。鼓膜は発生学的には動物が水中から陸上に上がってからできたもので、水中動物は振動を体で感じるので鼓膜は必要ない。クジラの祖先が陸から海に入り、長い年月を経て耳介や外耳道はなくなったが鼓膜は残った。しかしクジラの鼓膜はヒトの鼓膜のように薄い膜状ではないので振動はしないし、外耳道も閉塞している。ではクジラはどうやって音を聞くのか？

クジラは外耳から鼓膜へという経路を使わず下顎から皮下組織を通して音を伝導し、鼓膜の奥の耳骨へ伝えて聞いているという。ヒトで言えば骨伝導である。音は常温の空気中では秒速340mだが水中では秒速1500mとはるかに速い。クジラは音によって数百km、時には数千km離れた遠くの仲間と交信しているという。数千kmも離れた相手と交信するとは想像もつかない世界である。

船舶の騒音がクジラの交信の妨げになるというが、今は新型コロナウイルス感染の影響で船舶の交通量も激減し海も大分静かになっているだろう。こんな時だから一時現実を忘れ、静かな海を悠然と泳ぐクジラが遙か彼方の仲間と交信している姿に思いを馳せてはどうだろうか。

令和二年度 西多摩医師会定時社員総会にあたって



西多摩医師会長 玉木一弘

総会へのご出席、平素よりご指導ご協力に感謝申し上げます。

令和元年度事業は、終盤に、コロナ禍に翻弄されました。SARS、豚インフル等の経験を経て、本来なら新興感染症パンデミックは災害・BCP 上想定内の事態ではありましたが。

しかし今般の経験は、今そこにある危機に、今ここに持てるはずの、様々な革新的技術やシナリオを、国や社会システムにおいて、私達を含めた医療提供体制に於いても十分に発揮するに至らず、降り注ぐ行政通知とマスコミ報道の中で、住民や医療介護福祉職の不安を何とか受け止め、自らが可能な精一杯の医療提供に追われたというのが、偽らざる状況ではなかったでしょうか。

会員の皆様が、それぞれのお立場で、あるいは感染症病床や PCR センター出務等のハイリスク環境の中で、ミッションに立ち向かわれたことに、心から感謝の意を表します。

西多摩医師会 BCP(事業継続計画)想定事案

- | | | |
|-----|--------------|-------------------------|
| I | 大規模自然災害 | (大規模震災・河川氾濫・土砂風雨雪等局所災害) |
| II | 地域インフラの破綻 | (航空機事故・大規模停電等) |
| III | 地域社会機能の低下 | (新興感染症パンデミック時等) |
| IV | 大規模医療機関の機能停止 | (院内感染・食中毒・経営破綻等) |
| V | その他想定外事案 | |

さて、総会審議に立ち返りますが、会長職をお認め頂き、すでに三期 6 年が経過しました。これまで、先人はじめ真鍋、横田歴代会長の公益法人改革や新会館を引き継ぎ、2014 年の医療介護総合確保推進法に基づく地域包括ケア、地域医療構想を踏まえた ICT 連携、認知症・精神疾患連携、運動器フレイル予防、摂食嚥下機能支援、災害医療体制や医師会 BCP 構築に関する“五つのバリアフリー活動”と、医師会業務の標準化と財政改革に軸足を置いて参りました。

医療と介護の総合提供のための連携拡大と現場作り 五つのバリアフリー活動

「ICTによる連携・情報のバリアフリー活動」

多職種ネットワーク構築活動
地域包括ケアのための多職種名簿作成
多職種間情報共有・研修アクセス支援
地域住民の医療・介護資源へのアクセス支援
啓発情報発信
会外・会内情報へのアクセスと意思決定の迅速化

「運動器疾患のバリアフリー活動」

かかりつけ医・整形外科医・多職種連携による
ロコモ・サルコ・フレイル・疼痛支援から
動器機能低下や疼痛に囚われて生活不活発に陥る
高齢者の、心のケアを含む早期対応強化



西多摩三師会

「食と栄養のバリアフリー活動」

接触嚥下機能支援の包括的多職種連携と事例研究
摂食嚥下機能評価実施医療機関へのアクセス支援
口腔ケア・義歯器具調整・栄養管理・食形態統一
栄養補助医薬品調整・リハビリ・介助法等

「こころのバリアフリー活動」

かかりつけ医・精神・神経内科医・多職種連携による
認知症・うつ・精神・神経疾患等の行動・心理・運動器
症状・生活機能低下リスクへの早期対応力の向上

地域認知症疾患医療センター・精神科医療地域連携事業への参画

身体合併症対応体制の充実、
精神疾患長期入院者の退院促進
医療中断を防ぐための仕組みづくり
受診しやすい認知症・精神科医療体制作り
非ベンゾジアゼピン化の促進をめざす連携

「孤立と災害からのバリアフリー活動」

医師会と医療・介護・福祉提供者による
地域災害医療計画と同期したBCP構築
孤立・災害弱者への支援力の強化活動

そして少子高齢社会の街作りと一体化した、新たな地域医療と医師会の道筋を、次世代に引き継ぐことを念願して参りましたが、コロナ禍に直面しその至らなさを痛感し、次期役員選出におきましても、さらに機会を頂きたく立候補させて頂きました。

総会でお示しする事業計画や予算案は、今後のコロナ禍の状況が見透せず、止むを得ず従来を踏襲した立て付けとなりました。執行が滞る事業も多々生じ得、また協議・運営・研鑽事業における一層の ICT 化等新たな医師会様式が求められ、財務状況を崩さず、取捨選択による、臨時的な予算措置での事業展開を迫られることも否めません。何卒ご理解賜りたく存じます。

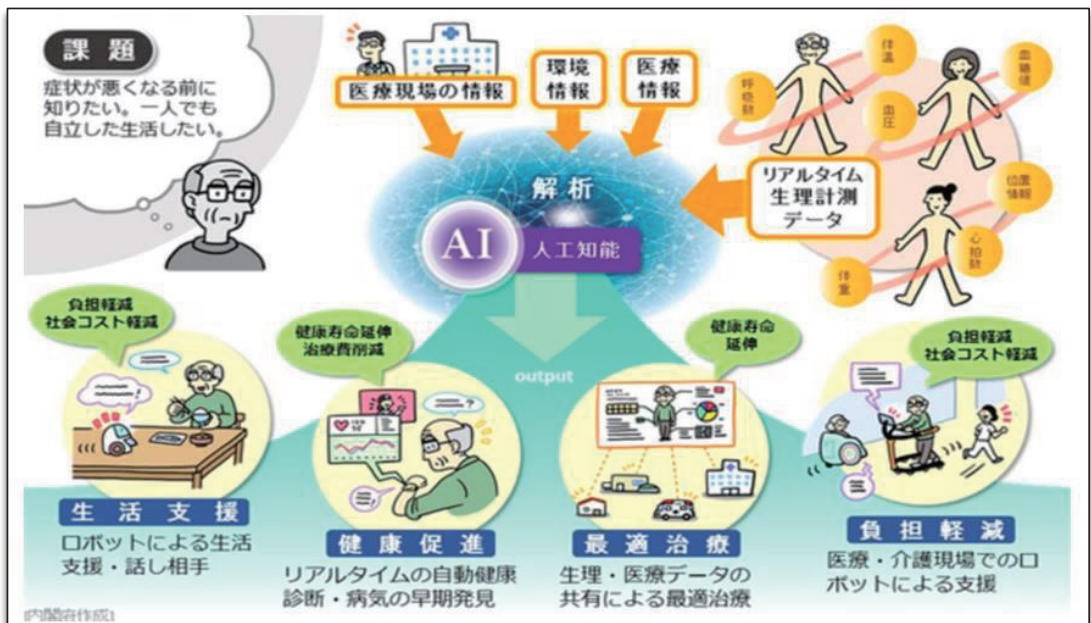
またコロナ禍第 2 波を含めた今後の圏域医療は、西多摩保健所の「新型コロナ対策西多摩圏域医療機関連絡会」を主体に対応しており、今後 8 自治体、介護施設や在宅サービス事業所も加え、西多摩 3 カ所の PCR センター活用、感染症病床連携、介護施設等でのクラスター発生時対応、在宅医療介護支援、必要に応じた宿泊療養体制等の向上等をめざす方向性です。

国は 2014 年の地域医療介護総合確保推進法の背景として、Society Verson5.0 すなわち、“様々なイノベーションの融合で、経済発展と社会的課題解決を両立する人間中心社会”の確立を提唱しており、その中での医療のあり方も問われていると言えます。

しかしマイナンバーが有効活用に至らぬように、医療 ID 導入・電子カルテ連携・ビッグデータ・遠隔診療等のイノベーションもまだ五里霧中です。

医師や医師会はそのような社会要請の中で、信頼と協働意思決定に基づく「住民の生命と健康の堅持」、すなわちヒポクラテス以来の「変えてはいけない理念」を守り、かつ「変えてなくてはならない医療提供システム」を革新し、「社会的共通資本としての医療」の向上に尽くさねばならないことを、改めて噛み締めつつ、皆様の慎重ご審議を仰ぐところです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。





カナディアンロッキーの思い出 1

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

2019年8月、夏休みにカナディアンロッキーへ行ってきました。

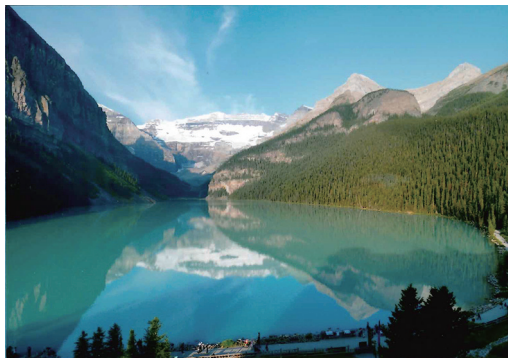
成田からバンクーバーで乗り継ぎ、カルガリーに到着。そして車で、レイクルイーズへ向かいました。

レイクルイーズは、カナダでも人気の観光地です。カナディアンロッキーの山が連なり、湖、氷河が点在し、その美しい景色に魅了されます。レイクルイーズは氷河湖で、その周囲にはいくつかのハイキングコースがあります。天候に恵まれ湖面に波がなければ、湖の奥にある氷河で被われたビクトリア山(3459m)が、映し出されます。その姿はことばでは表せない絶景です。レイクルイーズ周辺には、いくつかの絶景ハイキングコースがあります。その中でも特に、私が好きな絶景ハイキングコースを紹介します。

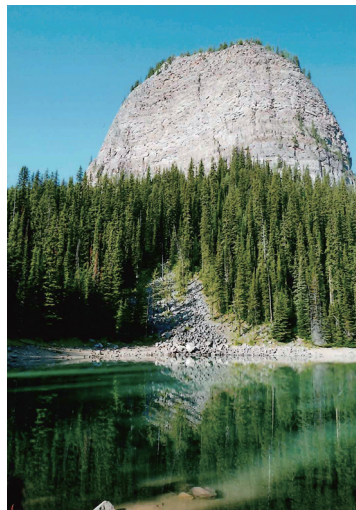
(1) レイクルイーズ → ミラーレイク → レイクアグネス → ビッグビーハイブ

コースタイム 5時間くらい

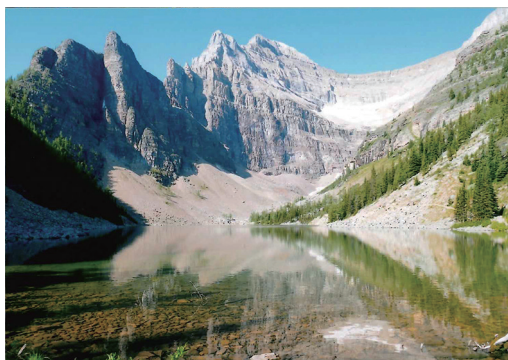
レイクルイーズのホテルを出発し、湖を右方向へ少し進むとミラーレイクへ向かうトレイルの入り口があります。そこから1時間くらい登るとミラーレイクに到着です。ミラーレイクの奥には、これから登る岩山ビッグビーハイブが見えています。風がなければ、鏡のように透き通ったエメラルドグリーンの湖面にビッグビーハイブが映し出されます。道標に従いさらに登っていくと滝が出てきます。まもなくレイクアグネスです。湖畔にはティーハウスがあり、周囲にはたくさんのリスがいます。人に慣れているのか、リスが近寄ってきます。レイクアグネスをさらに奥に進みます。美しい透明度の高いエメラルドグリーンの湖面には、周囲の山が映し出され、ハイキングコースの横は自然のお花畑です。湖のさらに奥へ進むとガレ場(大きささまざまな大きさの石が混在している場所)となり、体長60cmくらいのマーモットが出迎えてくれました。2m位の距離での遭遇です。ガレ場をチョロチョロと移動していました。岩に隠れては顔を出し、まるで、かくれんぼをしているようでした。さらに進むと登山道は、ビッグビーハイブへ向かうつづら折りの急登になります。湖の横の登山道を登り、高度を上げていくと、眼下のレイクアグネスのエメラルドグリーンの湖面は、さらに美しさを増していました。急登が終わると、ビッグビーハイブに到着です。山頂からの眺めは最高です。右下に水色で白濁したレイクルイーズ、正面下にエメラルドグリーンのミラーレイク、左下に濃いエメラルドグリーンのレイクアグネス。ビッグビーハイブからの眺めは、絶景ハイキングのまさにハイライトでした。



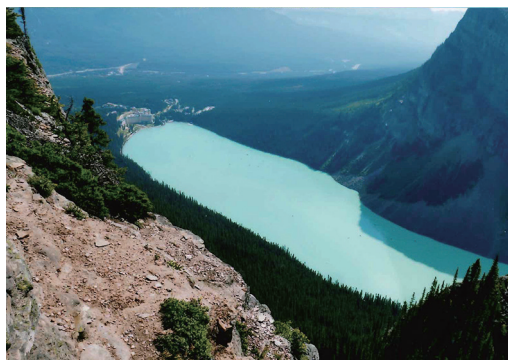
レイクルイーズ 湖の奥に見えるのがビクトリア山



ミラーレイク 湖の奥の岩山がビッグビーハイブ



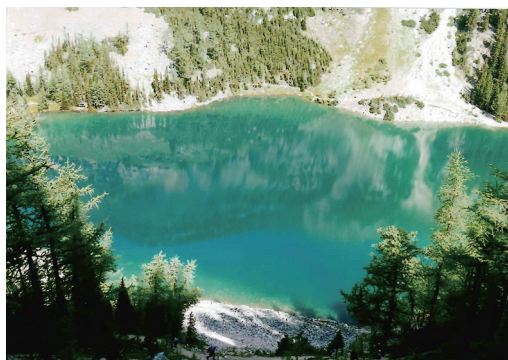
レイクアグネス



ビッグビーハイブから見たレイクルイーズ



ビッグビーハイブから見たミラーレイク



ビッグビーハイブから見たレイクアグネス

理事会報告

★ Information

4月定例理事会**令和2年4月28日(火)****西多摩医師会館**

(出席者: 玉木・石田・江本・樫田・栗原・佐藤・進藤(晃)・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・中野・横田)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、4/17に開催された標記協議会の伝達事項等について説明報告された

(2) 各部報告

総務部: ○事務職員に付与した個別メールアドレスについて

(3) 地区会報告(各地区理事):

青梅市

福生市 2市1町と福生病院を核としたPCR検査に係る検討を継続
(羽村市・瑞穂町も同様)

羽村市

あきる野市 4/24新型コロナウイルス感染症に係る会議開催

瑞穂町

日の出町 4/28新型コロナウイルス感染症に係る情報共有のため行政と会合

(4) その他報告: 特になし**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員20名の入会申請が紹介され承認された
また、準会員22名の退会が報告された

(2) 役員改選に伴う「告示」(案)について

役員改選に伴う「告示」案が資料として紹介報告され、内容及び4/30付発信が承認された
標記依頼につき依頼内容(資料)の通り承諾することが承認された

— 承認 —

【3】協議事項**(1) 2020年度定時社員総会の開催について**

新型コロナウイルス感染症の状況等により、標記について確認協議。開催日は変更せず、
開催場所を西多摩医師会館とし懇親会は行わないことが提案され可決承認された

— 可決承認 —

(2) 東京都脳卒中医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について**(3) 東京都糖尿病医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について**

東京都(委託者)より示された標記2つの契約書(案)が紹介・説明され、前年同様の

内容であることから、上記 2 及び 3 の契約締結について可決承認された

— 可決承認 —

(4) 西多摩医療圏における「地域 PCR センター」の開設について

資料により西多摩圏域における新型コロナウイルス感染症対策に係る経緯が確認された。また、青梅市医師会により運用開始されたドライブスルー方式 PCR 検査の手順等について説明紹介され、今後の西多摩圏域全体における標記「地域 PCR センター」の開設の必要性等及び各地区の取り組み状況等について情報交換・意見交換が行われた。

【4】その他

特になし

5月定例理事会

令和2年5月12日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・榎田・栗原・佐藤・進藤(晃)・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項

(1) 各部報告

総務部：○資料により、役員改選に伴う候補者・推薦者の状況について報告

○「2019年度事業報告書(案)」(資料)について各理事に内容確認を依頼((5/25までに)

(2) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 PCR検査の実施状況等について報告

福生市 5/19 理事会予定

羽村市

あきる野市 5/8 あきる野、日の出、檜原の市町村長・行政の担当部署と PCR 検査に係る会議を実施

瑞穂町

日の出町 町で防護服脱着訓練を実施予定

(3) その他報告

○新型コロナウイルス感染症対策にかかる都内地区医師会・保健所間ホットラインの開設について

資料(取扱注意)の通り標記ホットラインが開設されたことを報告(役員のみ)

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

— 承認 —

資料により正会員 1 名・準会員 7 名の入会申請が紹介・報告され承認された。また、異動届 2 件が紹介・報告された

【3】協議事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る診療所へのサージカルマスクの配布について資料により、標記マスク等の配布状況が紹介され、今回青梅法人会から寄贈された2万枚の会員への配布について。今回は診療所よりも病院に多めに配布することが提案され承認された

— 可決承認 —

【4】その他

〈追加〉

福生・あきる野地区のPCR検査開始に向けた検討状況・協力医師の状況等及び現状での課題、西多摩地区としての今後の方向性・課題に係る情報・意見交換

5月定例理事会

令和2年5月26日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・石田・江本・榎田・栗原・佐藤・進藤(晃)・進藤(幸)・土田・古川・宮城・中野・横田)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、5/15に開催された標記協議会の伝達事項等について説明報告された

(2) 各部報告

総務部：○7月の「移動理事会(新旧役員懇親会)」及び「納涼の夕べ」について中止とすることを報告、了承された

公衆衛生部(産業保健担当)

○7/12(日)の産業医研修会(ネッツたまぐー)の開催について、会場使用の条件等の状況を確認の上、6月第1週に決定することを報告、了承された

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 5/25 ファックス理事会開催

福生市 5/19 理事会開催

羽村市 5/19 理事会開催、6/2 総会開催予定

あきる野市

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告：

○前事業年度の業務・財産の状況等に係る「監事監査報告」

5/21に実施した2019事業年度の監事監査について監査報告書(写)により監査概要・結果等を報告

○COVID-19JMATの登録および損害保険について

標記都医からの通知(資料)については、本日付でニュアンスの異なる通知があり内容等確認の上再報告

- (株) バンダイからのフェイスシールド寄贈について
都医を通じ提供されたフェイスシールド (150 枚) は今後に備え PCR センター用として備蓄することを報告

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により準会員 2 名の退会が報告された

(2) 2019 年度「西多摩医師会決算報告書」について

標記報告書の資産・負債および収支の内容・状況等が説明・報告され承認された

— 承認 —

(3) 2019 年度「公益目的支出計画実施報告書 (計数)」について

資料により 2019 年度決算に基づく標記報告書の計数等につき顧問会計事務所より説明・報告され承認された

— 承認 —

(4) 2019 年度「西多摩医師会互助会会計収支計算書」について

資料により標記計算書の内容・計数等が説明・報告され承認された

— 承認 —

(5) 2019 年度「事業報告書」について

前回標記報告書 (案) を各理事持ち帰り内容等確認、修正・意見等無く原案の通りで承認された

— 承認 —

【3】協議事項

(1) 2020 年度定時社員総会の開催案内・資料等の発信について

資料により 2020 年度定時社員総会に係る会員への開催案内・送付資料等について (案) が示され、(案) の通りでの発信が可決承認された

— 可決承認 —

(2) 医師会 IT 化・オンライン会議・研修体制の構築について

会長より標記に係る体制の構築に向けた概算費用等々を含む案の作成・取り組みの必要性について説明され、案の作成等を開始することについて承認が求められ、承認された

— 承認 —

【4】その他

〈追加〉

高齢者インフルエンザ予防接種開始時期に係る提案について

標記の今年度予防接種開始時期を諸事情を考慮し 10/1 より開始とするよう行政と交渉することが説明・提案され承認された。(交渉担当は地域医療部に依頼)

6月定例理事会

令和2年6月9日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・石田・江本・樫田・栗原・進藤(晃)・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項**(1) 各部報告**

総務部：6/16の定時総会出欠届出状況について開催のための定足数を満たしていることを報告

(2) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 5/25 理事会開催、6/19 総会開催予定

福生市 5/28 COVID19に係る2市1町の対策会議開催

6/2 理事会開催、6/5 休日診療所運営会議開催

6/30 総会開催予定

羽村市 6/2 総会開催

あきる野市 6/5 理事会開催、6/10 より PCR 検査開始

瑞穂町

日の出町

(3) その他報告

○新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の解除を踏まえた各種健診等における対応について

標記各種健診等の実施に当たり取扱・注意点等の通知内容について確認・報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

— 承認 —

資料により準会員4名の入会申請が紹介・報告され承認された。また、準会員18名の退会及び2件の異動届が紹介・報告された

【3】協議事項**(1) 令和2年度東京都脳卒中及び糖尿病医療連携推進事業実施計画・年間執行計画等の提出について**

標記2件の受託事業について委託先(東京都)に提出する計画案等が説明紹介され可決・承認された

— 可決承認 —

(2) COVID19JMATの登録および損害保険について(その2)

西多摩地区3か所のPCR検査をJMATとして登録し、協力出務する先生方等の保険加入を進める方向とし、事務局にて日医等関係先と交渉しJMAT登録と保険加入に向け手続きを進めることとした

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

会員通知

- 会報5-6月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 令和2年度第1期西多摩医師会費等諸会費請求書
- PPE（個人用防護具）装着手順動画について
- 新型コロナウイルス感染症の小児患者に係る医療体制について
- “ ” に感染した妊婦に対する対応について（第2報）
- “ ” 感染症における医療機関からの質疑に関する回答について（その2）
- “ ” 係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その13・17・18・19・20）
- 新型コロナウイルス感染症に係る日本医師会認定産業医制度における更新申請の特例措置について
- 新型コロナウイルス感染症に係る日本医師会認定健康スポーツ医制度における更新申請の特例措置について
- 新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に増えた時に備えた入院医療提供体制等の整備の更なる推進について
- 夜間・休日ワンストップ窓口及び希少言語に対応して遠隔通訳サービス事業の実施について
- 母子保健事業等の実施に係る新型コロナウイルスへの対応について
- 令和2年度多摩新生児連携病院の指定について
- 妊婦に対する健康診査についての望ましい基準の一部を改正する告示の公布について
- 「妊婦の方々などに向けた新型コロナウイルス感染症対策」における妊婦へのマスクの配布に係るご協力をお願い
- 西多摩保健所より「GW期間中の西多摩保健所の体制について」
- 大日本住友製薬よりメトグルコ錠250mg/500mg自主回収について
- 新型コロナウイルス感染症拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等を実施する医療機関の実施状況の報告について（依頼）
- 新型コロナウイルス感染症拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の限定的・特例的な取扱いに関するQ&A
- ポリファーマーシーに対する啓発資料の活用について
- 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う高濃度エタノール製品の使用について
- “ ” 労災補償における取扱いについて
- “ ” が疑われる聴覚障害者向けに開始する遠隔手話サービスについて
- オンライン診療研修e-ラーニングのご案内
- 日の出町防護服着脱訓練
- 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド第1版の発行について
- “ ” の労災補償における取扱いについて
- “ ” の軽症者等に係る宿泊療養及び自宅療養における公費負担医療の提供及び費用の請求に関する診療報酬明細書等の記載等について
- 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安
- 独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について
- 新型コロナウイルス感染症で影響を受ける医療機関・医療法人に対する支援のメニューのご案内
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた公費負担医療等の取扱いについて（有効期間の満了日の延長）
- 発熱・呼吸器症状を有する、又は不安感のある患者さんへの対応
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と運動・スポーツの実施について
- 電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働省大臣が定める事項及び方式並びに光デスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働省大臣が定める事項及び規格について
- 令和2年度診療報酬改定における施設基準に係る臨時的な取扱いについて
- 独立行政法人福祉医療機構の新型コロナウイルスにより事業停止等となった事業者に対する福祉医療貸付事業の拡充等の新型コ

- 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における金融措置について
- 東京都医師会ホームページの会員専用コンテンツ閲覧に伴うユーザー名とパスワードについて
 - 2020年度西多摩医師会定時社員総会開催について
 - 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた自立支援医療の取扱いについて
 - 日本医師会ホームページの偽サイトについて（注意喚起）
 - 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた難病・肝炎等の公費負担医療の取扱いについて
 - 令和2年度東京都オンライン医療相談・診療等環境整備補助事業の実施
 - 抗インフルエンザウイルス薬イナビル吸入粉末剤20mg及びラピアクタ点滴静注液バイアル150mgの有効期間の延長について
 - 羽村市クリニック 診療継続のお願い
 - 青梅市立総合病院 循環器内科診療体制について
 - ” 消化器内科診療体制について
 - ” SAS外来について（呼吸器内科）
 - 西多摩医師会定時社員総会開始時間の訂正について
 - 西多摩保健所新型コロナウイルス受診相談緊急窓口（土曜日開設）の終了について
 - 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置等について
 - 資金繰り対策としての診療報酬等の概算前払いについて
 - 認知症サポート医養成研修の実施に係る受講者の推薦について
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた妊娠中の医師・看護師等への配慮について
 - 新型コロナウイルス感染症の労災保険給付に係る協力要請について
 - 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、医療法等における期限の定めのある規程の取扱いについて
 - 経済構造実態調査の事前周知について
 - 保護者が新型コロナウイルスに感染したこ
- とにより入院した場合等の対応等に関するQ&A
- あなたのくすり いくつ飲んでいますか？
 - 新型コロナウイルス感染症疑似患者受入れのための病床確保並びに疑似症患者受入れについて
 - （東京都福祉保健局）新型コロナウイルス対策にご協力いただいている医療機関の皆様へ
 - 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更について（令和2年7月1日算定）
 - 告示 西多摩医師会理事・監事・医道審議会委員
 - 東京都難病相談支援センター事業の実施について ご案内
 - 働き方改革 法改正で何がかわるの？
 - 福生・五日市・青梅警察署 詐欺に注意！
 - 後発医薬品比較サイトのご案内
 - 西多摩保健所連休期間中の新型コロナウイルス受診等対応について
 - 新型コロナウイルス感染症に伴う手指消毒用エタノール優先供給について
 - 日本老年医学会「かかりつけ医のための後期高齢者の質問票対応マニュアル」等に関する情報提供について
 - 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた小児慢性特定疾患医療費助成の取扱いについて
 - 新型コロナウイルス感染症に係る医療費ケアを必要とする児童への対応について（その3）
 - 学校における新型コロナウイルス感染症に関する資料の周知について（依頼）
 - 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの周知について（依頼）
 - 青梅市立総合病院より患者さんの受入れについてお願い
 - 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド第2版の発行について
 - 新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン
 - 〔都立学校〕～学校の「新しい日常」の定着に向けて

- 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出について
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への消化器内視鏡診療についての提出～緊急事態宣言解除に伴う、検診も含めた通常内視鏡診療再開を含めて～（情報提供）
- 令和2年度東京都医師会予防接種講演会（7/5）
- 信用保証協会によりセーフティネット保証5号の指定期間延長等について
- アルコール消毒製品の転売規制について
- 熱中症警戒アラート 概要
- 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- ” ” 係る行政検査の取扱いについて

- 令和2年度第2回難病医療ネットワーク医療従事者向け研修の実施について
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時間的・特例的な取扱いにおける自宅療養中の患者への医療機関における薬剤の配送方法に係る留意事項に関する件
- 夏季を迎えるにあたっての外来セッティングについて～エアコンの取扱いなど～
- 「感染症法における新型コロナウイルス感染症患者の通院及び就業制限の取扱いについて」の一部改正等について
- 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令の公布及び施行について
- 蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

医 師 会 の 動 き

令和2年6月22日現在

医療機関数	195	病 院	30
		医院・診療所	165
会 員 数	529	正会員	209
		準会員	320

会 議

5月12日	定例理事会
19日	経理部会
21日	監査会
26日	定例理事会
6月9日	定例理事会
16日	西多摩医師会定時社員総会
22日	広報部会（会報編集）
23日	定例理事会

講演会・その他

5月7日	保険整備会
21日	法律相談
6月8日	保険整備会
18日	法律相談

役員出張

5月15日	地区医師会長連絡協議会
6月19日	地区医師会長連絡協議会
25日	東京都医師会第294回（定時）代議員会

【新規開業】

氏 名 奥野 孟
 施設名 おくの眼科
 所在地 あきる野市秋川4-2-5

【入会会員】（正会員）

氏 名 奥野 孟
 勤務先 おくの眼科
 出身校大学 岩手医科大学 平成24年3月卒

【入会会員】（準会員）

氏 名 武井 章矩
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 日本大学 平成22年3月卒

氏 名 加藤 廉
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 旭川医科大学 平成29年3月卒

氏 名 芳賀 大生
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 日本大学 平成28年3月卒

氏 名 坂井 映太
 勤務先 公立阿伎留医療センター
 出身校大学 金沢医科大学 平成28年3月卒

氏名 早川 怜那
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 東京女子医科大学
平成29年3月卒

氏名 高増 英輔
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 長崎大学 平成22年3月卒

氏名 武石 彩
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成28年3月卒

氏名 梶田 賢司
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成8年3月卒

氏名 高嶋 正利
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 埼玉医科大学 平成25年3月卒

氏名 安倍 恵太
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 群馬大学 令和2年3月卒

氏名 矢嶋 知佳
勤務先 公立福生病院
出身校大学 東京女子医科大学
平成26年3月卒

氏名 松岡 信成
勤務先 公立福生病院
出身校大学 慶應義塾大学 平成25年3月卒

氏名 植松 陽介
勤務先 公立福生病院
出身校大学 東京慈恵会医科大学
平成30年3月卒

氏名 吉峰 知宏
勤務先 公立福生病院
出身校大学 北里大学 平成27年3月卒

氏名 宇井 貴彦
勤務先 公立福生病院
出身校大学 慶應義塾大学 平成30年3月卒

氏名 千葉 由幸
勤務先 公立福生病院
出身校大学 横浜市立大学 平成7年3月卒

氏名 葉山 瑠美
勤務先 公立福生病院
出身校大学 浜松医科大学 令和2年3月卒

氏名 武市 瑛子
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成26年3月卒

氏名 北野 牧子
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 獨協医科大学 平成14年3月卒

氏名 輿石 剛
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 長崎大学 平成4年3月卒

氏名 佐々木 孝逸
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 富山医科薬科大学
平成1年3月卒

氏名 久貝 太麻衣
勤務先 ばば子どもクリニック
出身校大学 長崎大学 平成24年3月卒

氏名 松井 孝至
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 慶應義塾大学 平成2年3月卒

氏名 藤井 伸哉
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成27年3月卒

氏名 初澤 紘生
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成29年3月卒

氏名 生形 有史
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 島根大学 平成29年3月卒

氏名 杉中 宏司
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 北海道大学 平成18年3月卒

氏名 清水 青葉
勤務先 公立福生病院
出身校大学 群馬大学 平成27年3月卒

氏名 伊原 竜太郎
勤務先 公立福生病院
出身校大学 宮崎大学 平成31年3月卒

氏名 一川 良太
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 令和2年3月卒

氏名 玉木 香菜
勤務先 (医社) 幹人会 菜の花クリニック
出身校大学 名古屋大学 平成27年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 島田 篤
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 貞苺 利彦
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 伊藤 和彦
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 柏木 龍之介
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 井上 千賀子
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 入江 彰
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 古川 真也
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 岩男 彩
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 堀江 秀紀
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 傳田 侑也
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 松野 成伸
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 勝又 徳一
勤務先 公立福生病院

氏名 福島 啓太
勤務先 公立福生病院

氏名 中村 匠
勤務先 公立福生病院

氏名 山岸 徳子
勤務先 公立福生病院

氏名 石井 政嗣
勤務先 公立福生病院

氏名 横田 俊介
勤務先 公立福生病院

氏名 高野 夏希
勤務先 公立福生病院

氏名 岩浅 徳洋
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

氏名 川合 真令
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

氏名 北野 真利子
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院

氏名 樽矢 敏広
勤務先 青梅慶友病院

氏名 須原 宏造
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 村内 重夫
勤務先 (医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院

氏名 直井 一文
勤務先 (医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院

氏名 渡部 靖郎
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 横山 美貴
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 目時 茂
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 古川 聡一
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 仁科 一隆
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 高崎 寛司
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 後藤 健太郎
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 池ノ内 健
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 寺尾 吉生
勤務先 (医社) 久遠会 友田クリニック

氏名 寺尾 陽子
勤務先 (医社) 久遠会 友田クリニック

氏名 鈴木 亮二
勤務先 奥多摩町国民健康保険
奥多摩病院

氏名 木内 仁志
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 川関 和俊
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 福田 慶一
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 佐藤 康弘
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 神谷 増三
勤務先 (医社) 豊寿会 熊川病院

氏名 山上 あゆむ
勤務先 公立福生病院

氏名 五月女 恵一
勤務先 公立福生病院

表紙のことば



『アマゾンユリ』

バンデューセンガーデン(カナダ)
変ったユリだな、と思って
何気無く撮った一枚。

真鍋 勉

あとがき



全国的に蔓延した新型コロナウイルスも、なんとか収束に向かい、緊急事態宣言は解除されましたが、感染予防対策は緩められない状況が続いております。厳しい自粛生活により皆様の生活も大きく変わられたことと思います。

17世紀、アイザック・ニュートンは、ペストの蔓延により大学が閉鎖され、郷里の村で1年半の疎開生活を送ったそうです。万有引力の法則、微分積分、プリズムでの分光の実験(光学)というニュートンの三大業績と呼ばれる大発見は、何れもこのわずか1年半ほどの期間に発見および証明がなされ、この期間は「創造的休暇」と呼ばれているそうです。ニュートンにとって感染症の蔓延による疎開は、じっくりと思考を深められるとても良い時間であったのでしょうか。

自分とはいえば、考える時間が増えたとは思いますが、何か大きな発見やひらめきが生まれるかという、やはりそのような事はないようです。休日に数キロ程度行っていたジョギングが、最近は20kmのロングランになりました。他にはスーパーくらいしか出掛けるところがなく、買い物もできない

と思っていましたが、今では食料品以外のほとんどをネットで購入するようになり、家にいながら何でも購入できることがわかりました。会議はWeb開催が多くなりましたが、これによる弊害はそれほど小さくなく、逆に効率的と思うようになりました。体は自粛していますが、自分のアバターが急に活動的になり、全国を飛び回って活動を開始しているという感覚です。この状況は意外に快適でもあり、容易に元に戻るとは思えません。コ

ロナ禍により強制的に生活スタイルが矯正され、しかし、これを機に非効率な活動も是正され、今後の社会生活は不可逆的に大きな変貌を遂げるものと思います。ニュートンは実家の納屋に籠って考えを巡らしましたが、我々は仮想空間を激しく動き回り、知恵を巡らし今後の社会をつくってゆくのかもかもしれません。ジョギングだけはアバターではなく、自分でやろうと思います。

進藤医院 進藤幸雄

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出

令和2年8月（7月診療分）**8月6日（木）** 正午迄

令和2年9月（8月診療分）**9月8日（火）** 正午迄

（締切日以前の提出も可能です）

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を

毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。

お気軽にご相談ください。

◎相談日 **7月16日（木）**
9月17日（木）

◎場所 西多摩医師会館

◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）

◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

（注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

一般社団法人 西多摩医師会

令和2年7月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

栗原 教光 土田 大介 鹿児島武志 奥村 充 神尾 重則 近藤 之暢

菊池 孝 進藤 幸雄 前田 暢彦 松崎 潤 松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

1回の臨床検査で
救われる「いのち」がある。




 臨床検査事業

臨床検査 / 遺伝子検査 / 予防医学 / 治験検査

 医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守

 関連事業

食品衛生検査 / 環境検査 / 歯科検査

臨床検査は健康な未来への道しるべ



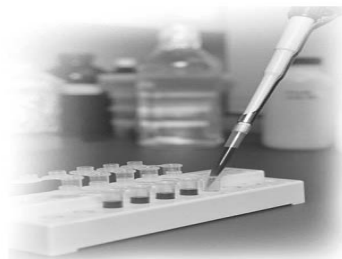
バイオシステムで医療に貢献します
株式会社ビー・エム・エル
<http://www.bml.co.jp/>

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8
TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-2621
URL; <http://www.e-musashi.co.jp>